

「藤枝での2年間の初期研修を振り返って」

2年次 東 航平

初期研修も残りわずかとなってしまいました。1年目の頃は右も左も分からず、文字通り院内を徘徊しながら周りの方々に助けてもらってばかりの研修生活でした。そんな私にも藤枝の皆さんは優しく接して下さり、繰り返し丁寧に指導いただいた甲斐あって日々一歩一歩成長を感じることができました。ある上級医に「人の心がわかる医者になりなさい」と薫陶を受けましたが、まだまだ患者さんの心は分からずとも、2年間の研修を通して以前よりも周りの方々の温かい心に気づくことができるようになったと思います。

普段の病棟業務や救急外来などでは、依然として指導医・上級医の先生方のお力に頼ることが多く自分自身の臨床能力の不足を実感させられることばかりですが、藤枝での2年間は今後の医師人生の基礎を築く上で非常に貴重な期間となったことは間違いありません。藤枝での経験・思い出を胸に、4月からは新天地でより一層医学の研鑽に励みたいと思います。



2年次 今井 和樹

この2年間は大変お世話になりました。ご迷惑をおかけすることも多かったと思うのですが、皆様のおかげで無事に研修を修了する事ができました。

研修病院として当院にマッチングした時は非常に嬉しかったことを記憶しています。当時の自分は先輩が当院で研修をしており、非常に良い病院だという情報と、大学の同期がたくさんいて研修をしやすいのではないかと入職しました。

今もその気持ちにブレはありますが、研修を終えてみて一番大きかったと感じたのは研修医の同期の存在でした。深夜の内視鏡に喜んで行く人や、研修医評価試験の偏差値が70の人や、ピーマンを育てる人や、看護師に声を掛ける人まで本当に個性のある同期が揃っていると改めて感じています。

医学面、生活面、恋愛面までそういった同期と刺激し合って成長できたことは自分にとってかけがえのない財産になりました。

来年からは別々の進路に進むことになりますが、ここで得た経験を糧にどんな困難にも立ち向かっていけると確信しています。次に会う時にはまたお互い成長した姿で会えるのを楽しみにしています。

p.s. 2年前の自分へ デキレジにはなれませんでした(//ノДノ)

2年次 小関 海都

気づけば初期研修の2年間が終わり、後期研修に突入しようとしています。思い返せば、本当に沢山のことを経験しました。成長したかと思えば失敗し、また成長しては失敗の繰り返しでした。多くの方にご迷惑をおかけしました。

上級医の先生方は素敵な方ばかりで、ほぼすべての先生と関わり、お世話になったと思います。優しく、時に厳しくご指導いただきました。特に、私の初執刀の指導と前立ちをして頂いた上林先生を始め、呼吸器外科の先生方には感謝をしてもしきれません。

プライベートにおいても、研修医の仲間や上級医の先生方やコメディカルの方々と、たくさん飲んだり遊びに行ったりと、非常に楽しく濃い2年間でした。信頼される医師になるということを目標に、2年間研鑽をして参りました。まだまだ未熟者ですが、少しは目標に近づけたと思います。

私は呼吸器外科に進むと決めました。来年度は外科専門研修の一環で、まずは消化器外科として1年間勤務することとなりました。今より遥かに大変な毎日が待っていると思います。患者さんと真摯に向き合い、「この先生になら体を預けてもいい」と思ってもらえる外科医になれるよう、全力で走り続けます。藤枝で私と関わって下さった全ての方々に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



研修センター通信

vol. 149

令和6年3月21日

発行:教育研修センター

令和5年度 初期研修医修了式 & 藤枝ドクターズクラブ

3/23
(土)

10:30~
14:30
小杉苑

ご都合のつく方はぜひご出席下さい。新しい門出を祝福しましょう。